

1. 概 要

この車両は、はしごの先端が屈折することで、電線や樹木などの障害物を避けて上から建物に接近することはもちろん、特に高層ビルのフェンスや手すりなどに囲まれた屋上でのスムーズな救助活動や消火活動が可能です。また、はしごの角度は仰角のみではなく、俯角（斜め下方向）にはしごを伸ばすことが可能で、例えば水難事故等ではしご車の位置より低い位置に要救助者がいる場合に救助活動が可能な最新鋭のはしご付消防自動車です。

2. 主な特徴

（１）先端屈折装置



はしご先端部が屈折することで、架梯時における障害物回避能力の向上、バスケットへの乗り移りが容易で屋上のフェンスを回避しての架梯が可能となり、安全な救助活動が実施できます。

（２）伸縮水路管

アルミ製伸縮水路管により、従来の消防ホースに比べ大量放水することができます。（最大2000ℓ/minの放水が可能です。）



（３）リモートコントロール放水銃



バスケットに装備された電動式放水銃はバスケットに操作員が搭乗することなく、はしご車操作部においてリモートコントロール可能で、安全に高所から大量放水ができます。

（４）低所における救助活動

斜め下方向にはしごを伸ばすことができ河川に転落した車両等に、はしごを伸ばして救助隊員が乗り移り救助をします。（-10度まで伏梯が可能です。）



3. 車両四面写真



4. 諸元表

（１）車体関係

シ ャ シ 等	ダブルキャブはしご消防車専用、10 t 級後輪2軸4輪操舵方式		
車 体 型 式	LDG-PR1APBF	全 長	11,540mm
エ ン ジ ン 型 式	A09C	全 幅	2,490mm
検 定 出 力	279kw	全 高	3,500mm
最 大 出 力	279kw	軸 離	5,380mm
総 排 気 量	8.86ℓ	車 両 総 重 量	20,250kg
乗 車 定 員	6名	最 小 回 転 半 径	7.2m

（２）はしご関係

は し ご 構 造	5連構成トヲ組立	最 大 地 上 高	35.5m
は し ご 連 数	5連	最 大 作 業 半 径	15.2m
起 伏 角 度	-10~75度	バ ス ケ ッ ト 許 容 荷 重	2700N
旋 回 角 度	360度	リ フ タ 許 容 荷 重	1800N
傾 斜 矯 正 角 度	前方向7度	ジ ャ ッ キ ア ッ ト リ フ タ 装 置	H型最大前4.7m後5m